



# からすま病院 NEWS

KYOTO KARASUMA HOSPITAL

## 4月より

## 土曜日の内科外来を2診制とします

発行：社会福祉法人京都社会事業財団  
京都からすま病院  
広報委員会

現在、土曜日の内科外来は主に専門外来を行っていますが、初診や一般の患者さんのご要望にお応えして、4月より下記の医師で診療を行いますので、ご利用ください。

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
専門 外来	吉澤（尚） （循環器）	山下 （血液内科）		山下 （血液内科）	吉澤（尚） （循環器）
一般 外来	誉田 （一般内科）	酒井 （総合内科）	松本 （一般内科）	稲井 （一般内科）	稲井 （一般内科）

当院の入院病棟は、現在一般病棟と回復期リハ病棟で構成していますが、2024年度診療報酬改定で新設された「地域包括医療病棟」は、当院の課題でもある、増加している高齢者の軽症・中等症の救急搬送患者さんへの対応の解決案であると考えています。

転換するには様々な課題もありますが、地域の先生方の意見を伺いながら検討を進めてまいります。地域連携室スタッフがご相談に伺った際は忌憚のないご意見をお願いいたします。（下図は厚生労働省保険局医療課の資料です。）

### 地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



一定の医療資源を投入し、急性期を速やかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援  
適切な意思決定支援



早期の在宅復帰



10対1の看護配置に加えて、療法士、管理栄養士、看護補助者（介護福祉士含む）による高齢者医療に必要な多職種配置

包括的に提供

## 言語聴覚士（ST）が4名で治療しています

回復期での脳卒中やその他の病気、頭部外傷が原因で起こるコミュニケーション障害、高次脳機能障害、摂食・嚥下機能障害についてリハビリテーションを行っています。

また、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）も嚥下機能に応じて医師と相談の上、行っています。それに伴い、適切な食事姿勢や食事形態の調整も行っています。

また、退院後も継続したリハビリテーションを希望されれば、在宅サービス等に情報提供を行い、連携を図っています。



## 「地域連携室」のご紹介



当院は「思いやりのある医療」を念頭に置き、地域から選ばれる病院を目指しています。患者さんのご紹介に対し、待たさない・断らないことを実現できるよう職員一丸となって取り組んでいます。

入院を要する患者さんには、スムーズにベッドの確保ができるように円滑な院内連携を強化しています。

また、後方支援におきましても、入院時には患者さんのスクリーニング・早期の支援介入に努め、地域医療機関・各在宅サービスとの連携が円滑に行えるよう取り組んでおります。

昨年11月には、京都からすま病院としては、初回となる「地域連携懇談会」を開催しました。前回号にも記載しましたが、対面の良さを改めて実感した会となりました。今後はさらに交流を深め、近隣の医療機関・施設の皆様と「顔の見える関係」の構築に努めてまいります。どのような内容でも構いません。まずは、当院地域連携室にご相談いただけたらと存じます。